

開催報告

へちまを草木染めして飾りをつくろう

11月16日(日) 10:00~12:00

★参加者 5名

1. へちまのお話

講師 浜松へちま・ミライ 五明三佳氏

- ①へちまの歴史
- ②へちまの育成と地球温暖化防止への取り組み
- ③へちまの活用事例紹介
 - ・リース飾り・石鹸置き・ハブラシ立て・ペン立て



2. へちまの草木染とへちま飾りづくり体験

- ①媒染作業（へちまをミョウバンにつける）※色素と繊維を結びつける。
- ②茜染とセイタカアワダチソウ液を鍋にいれて温めて染色する。
- ③藍染液につける。（藍染液は、薄茶色です。そこに空気が入ると緑色に変化。へちまを染液に入れると緑色から藍色に変化する様子が分かります。染液が空気に触れると酸化して変色する様子を見ることができます。）
- ④ツルをリースにして、へちまの飾りをつける。



3. 参加者の感想

- ・へちまを育てて、利用してみたいと思いました。
- ・へちまスポンジ以外の使い道が沢山あることが分かりました。
- ・小学校の頃、学校でへちまを育てていたこと、浜松のへちま産業について勉強した記憶がよみがえりました。
- ・染料のお話が勉強になりました。
- ・植物の力のすごさを感じました。
- ・へちまを育てて2年目、使い方がいろいろと知れて、身近になりました。
- ・へちまの活用について学ぶことができました。
- ・リース作りは難しかったですが、素敵に作る事ができました。
- ・どの色のへちまもかわいかった。リボンのへちまが作れて楽しかった。（4才）

